

■天皇皇后両陛下京都府行幸啓
～国際外科学会世界総会ご臨席～



月刊 チャップリン

2017年(平成29年)

1月15日

第32巻1通巻200号

昭和62年5月22日第三種郵便物認可

¥200 1・4・7・10月 15日発行

発行人 株式会社アアムス 〒173-0027東京都板橋区南町62-7スカイコートK. 1階



天皇、皇后両陛下は新幹線で京都市へ入られ、集まった方々へ御挨拶された。23日は国際外科学会開会式へご出席された。

天皇皇后両陛下 京都府行幸啓 平成28年10月23日～26日

第10回国際外科学会世界総会 開会式ご臨席・地方事情御視察

天皇、皇后両陛下は、京都府に於いて、開会式ご臨席、地方事情御視察のため、23日から26日まで、京都府内を御行幸啓になられました。23日は、国際外科学会開会式出席のため、新幹線で京都市に入られ、24日、同市内で開会式ご臨席、25日、下賀茂神社と上賀茂神社を参拝。26日は、京都府立医科大学を視察し、同日夕に帰京されました。



京都府を訪問中の天皇、皇后両陛下は24日、京都市の国立京

京都で国際外科学会に出席

都国際会館(京都市)で開かれた「第四〇回国際外科学会世界総会」の開会式及び同レセプションに出席し

天皇、皇后両陛下は二十三日、臨時専用列車で京都市に入られた。京都御所(京都市)では、両陛下が八十歳の傘寿を迎えたことを祝う傘寿奉職員茶会に出席した。茶会には、関西地方に勤務する宮内庁職員(京都事務所、正倉院事務所、桃山、月輪、畝傍、古市各陵墓監区事務所)が催した。



た。両陛下は毎年、国際的な学術会議への出席が定例となっており。式典には、世界各国の外科医ら約六八〇人の医療関係者が出席。続いてレセプションも開かれ、両陛下は笑顔で歓談した。この世界総会は「我が国及び世界の外科の発展に寄与すること」という目的のもと一九三六年から二年に一度開催されているものである。



東日本パイロット協会



災害ボランティア フライヤーズ・レスキュー・チーム

〒980-4504

宮城県栗原市蒲郷小深沢232-1 電話 0228-36-2717



羽ばたけ東北

天皇 皇后両陛下下京都行幸啓

下鴨・上賀茂両神社22年ぶり御参拝



下鴨神社・上賀茂神社ご参拝

天皇、皇后両陛下は、二十五日、京都市左京区の賀茂御祖神社（＝下鴨神社、新木直人宮司）と北区の賀茂別雷神社（＝上賀茂神社、田中安比呂宮司）とにそれぞれ御参拝遊ばされた。また今回の行幸啓に際し、御参拝された二社に幣帛料と神饌料、府内の旧官国幣社と旧指定護国神社十九社に幣饌料を御下賜にあられた。



が両神社を参拝するのは二十二年ぶり。午前と午後に分けて訪問し、モーショングッドレスの皇后さまは、神社関係者が見守る中、会釈をしながら参道を進み、それぞれ参拝を済ませた。



下鴨神社について

正式には「賀茂御祖神社（かもみおやじんじや）」京都は鴨川を中心にして町づくりがなされておられ、鴨川の下流にまつられておられるというところから「下鴨さん」「下鴨神社」と親しくよばれている。東西の両本殿はともに国宝に指定されている。

上賀茂神社について



正式には「賀茂別雷神社（かもわけいかづちじんじや）」通称「上賀茂神社」。本殿と権殿が東西に並び立ち、共に文久三年造替で「流造」の典型として国宝に指定されている。その他の御殿の殆どは重要文化財に指定されており、平安時代の佇まいを残すところから境内全域が平成六年に世界文化遺産に登録された。

天皇 皇后両陛下下京都府行幸啓日程

- | | |
|------------|-----------|
| 第一日 十月二十三日 | 皇居（正門）御出門 |
| 東京駅御発 | |
| 京都駅御着 | |
| 京都大宮御所 | |
| 京都御所 | |
| お泊所 京都大宮御所 | |
| 第二日 十月二十四日 | |
| 京都国立博物館 | |
| 京都大宮御所 | |
| 国立京都国際会館 | |
| お泊所 京都大宮御所 | |
| 第三日 十月二十五日 | |
| 賀茂御祖神社 | |
| 京都大宮御所 | |
| 賀茂別雷神社 | |
| 京都御所 | |
| 第四日 十月二十六日 | |
| 京都府立大学法人京 | |
| 都府立医科大学 | |
| 京都府公館 | |
| 京都駅御発 | |
| 東京駅御着 | |
| 還幸啓 | |



26日天皇、皇后両陛下は京都市上京区の京都府立医大を訪れ職員方と笑顔でご挨拶され、教授の説明を聞き再生医療の研究現場を視察された。



特定非営利活動法人 社会生活促進援護会

山梨県笛吹市一宮町南野呂394番地1号
電話 0553-47-2236